

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 9 - 23

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	雄武地区簡易水道第3期拡張事業																			
評価者	担当課名		建設水道課	担当係名		水道係														
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長														
		氏名	大場利昭		氏名	江田一夫														
事業の概要	青葉第二浄水場稼働から、30年経過による電気・機械装置等の老朽化による故障の発生が多くなっていることから更新整備を図る。又、クリプト対策に万全を期すための過施設の変更更新により、将来にわたる安定給水を目的とし実施するものです。				<table border="1"> <tr> <td colspan="2">全体計画</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(平成 20 年度～ 21 年度)</td> </tr> <tr> <td>国・道支出金</td> <td>171,674 千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>580,900 千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>42,426 千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>事業費計</td> <td>795,000 千円</td> </tr> </table>		全体計画		(平成 20 年度～ 21 年度)		国・道支出金	171,674 千円	地方債	580,900 千円	その他	42,426 千円	一般財源	千円	事業費計	795,000 千円
全体計画																				
(平成 20 年度～ 21 年度)																				
国・道支出金	171,674 千円																			
地方債	580,900 千円																			
その他	42,426 千円																			
一般財源	千円																			
事業費計	795,000 千円																			
実施方法	■ 直営	民間委託	その他 ()																	
第5期総合計画(前期)		■ 登載事業	非登載事業	優先度	A															
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～																		
	基本施策	17 上・下水道の整備																		
	単位施策	1 水道の安定供給																		
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務																	
	その他計画・根拠等																			
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)														
	国・道支出金	109,422 千円	63,001 千円	0 千円	0 千円	0 千円														
	地方債	371,700 千円	209,200 千円	0 千円	0 千円	0 千円														
	その他財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円														
	雄武町負担額(一般財源)	16,463 千円	22,799 千円	0 千円	0 千円	0 千円														
	合計	497585 千円	295000 千円	千円	千円	千円														

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)					
【抱える課題やニーズは】	気候変動による水量不足と水質悪化。	施設整備 1式					
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	浄水機能の向上による安定稼働。	① 1施設	指標(指標計算式/解説)			目標値及び実績値	
			目標年度	平成20年度			
			目標値	1 施設			
			実績値	1 施設			
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安心・安全な水供給が図れる。	②	達成度	100.0 %			
			目標年度				
			目標値				
			実績値				
内容(どのような手段で何を行ったか)							
①民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事発注し、第3期拡張事業を実施した。						

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	産業等、生活維持に欠かすことのできないライフラインの整備は、町が担う必要があります。また、当該事業を実施しない場合には、市街地区全域の断水及び水質悪化による健康被害等住民生活に大きな影響を与えるものです。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	電気機械設備の更新改修により施設の延命並びに、水質改善施設の整備が図られた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	老朽頻度が高い設備優先による更新改修の実施。及び使用可能設備の再使用による経費節減を図ったことにより、概ね効率的に実施できた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

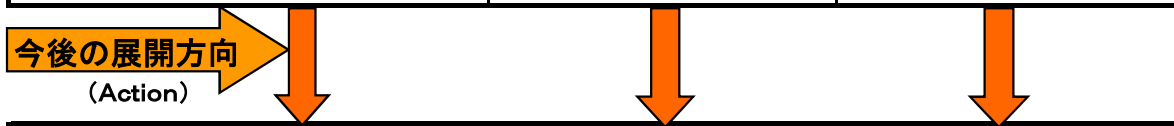
(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	水の安定供給が図られたことから、概ね公平であると考慮する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画通り事業が進んでいる。		



継続／現状維持		
21年度完了に向け継続現状維持。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書（平成 20 年度事業）

整理番号 9 - 24

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		沢木・幌内浄水場電気機械設備更新整備事業														
評価者	担当課名	建設水道課		担当係名	水道係											
	管理職	職名	課長		作成者	係長										
		氏名	大場利昭			氏名	江田一夫									
事業の概要	沢木・幌内浄水場稼働開始から10年経過による、電気機械装置故障に伴う断水を未然に防ぐため実施するものです。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)	<table border="1"> <tr> <td>国・道支出金</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>11,000 千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>38,200 千円</td> </tr> <tr> <td>事業費計</td> <td>49,200 千円</td> </tr> </table>	国・道支出金	千円	地方債	千円	その他	11,000 千円	一般財源	38,200 千円	事業費計	49,200 千円
国・道支出金	千円															
地方債	千円															
その他	11,000 千円															
一般財源	38,200 千円															
事業費計	49,200 千円															
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託		<input type="checkbox"/> その他 ()												
第5期総合計画(前期)		<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業	<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	A											
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～														
	基本施策	17 上・下水道の整備														
	単位施策	1 水道の安定供給														
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務													
	その他計画・根拠等															
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)										
	国・道支出金	千円	千円	千円	0 千円	千円										
	地方債	千円	千円	千円	0 千円	千円										
	その他財源	千円	千円	11,000 千円	0 千円	千円										
	雄武町負担額(一般財源)	2,205 千円	11,400 千円	14,000 千円	5,000 千円	5,300 千円										
	合計	2205 千円	11400 千円	25000 千円	5000 千円	5300 千円										

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	機器故障による浄水処理機能停止。	施設整備 1式				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	浄水機能の向上による安定稼働。	① 2施設	指標(指標計算式/解説)			目標年度 平成20年度
						目標値 2 施設
						実績値 2 施設
						達成度 100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安心・安全な水供給が図れる。	②	指標(指標計算式/解説)			目標年度
						目標値
						実績値
						達成度 %
内容(どのような手段で何を行ったか)						
①民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事発注し、電気機械設備更新整備事業を実施した。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	産業等、生活維持に欠かすことのできないライフライン整備は、町が担う必要があります。また、当該事業を実施しない場合には、市街地区全域の断水及び水質悪化による健康被害等住民生活に大きな影響を与えるものです。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	機械設備の更新改修により施設の延命並びに、水質改善施設の整備が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	老朽頻度が高い設備優先による更新改修の実施及び使用可能設備の再使用による経費節減を図ったことにより、概ね効率的に実施できた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	水の安定供給が図られたことから、概ね公平であると考慮する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
今後も計画通り事業を進める事が適当。		



継続／現状維持		
ライフライン確保による継続現状維持。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 9 - 25

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	沢木簡易水道配水管増設整備事業					
評価者	担当課名	建設水道課	担当係名	水道係		
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	大場利昭		氏名	江田一夫
事業の概要	町道沢木市街地線には配水管が敷設されていないため、給水管からの分岐延長により各戸給水を行っており、配水管増設によりこれを解消するものです。 (水圧・水量不足解消を図る)			全体計画 (平成 20 年度～ 20 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 3,400 千円 一般財源 1,600 千円 事業費計 5,000 千円		
実施方法	■ 直営	民間委託	その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)	■ 登載事業	非登載事業	優先度	A		
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～			
	基本施策	17	上・下水道の整備			
	単位施策	1	水道の安定供給			
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	4,379 千円	千円	千円	千円	千円
	合計	4379 千円	千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	低水圧による使用水量不足。	配水管増設延長		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	水圧・水量不足解消による安定給水を目指した。	指標(指標計算式/解説)	目標年度及び実績値	
		① 配水整備延長/配水整備延長の実績	目標年度	平成20年度
			目標値	101 m
			実績値	101 m
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	本地区の水圧・水量の確保が図られた。	②	達成度	100.0 %
			目標年度	
			目標値	
			実績値	
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
①民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事発注し、配水管増設整備事業を実施した。			

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	配水管増設整備により町民の不公平感の解消を図り、水圧不足を無くして快適な住環境の整備は町が担う必要があります。 また、当該事業を実施しない場合には、老朽給水管による漏水が発生し住民生活に支障を来すことが予測される。 同時に、有収率が低下して、浄水処理稼働負担が増大する。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	配水整備を完了することにより、水圧・水量不足解消が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的 課題あり	判断の理由	塩ビ製配水管の採用により、事業費が抑制されたことで、概ね効率的に実施された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

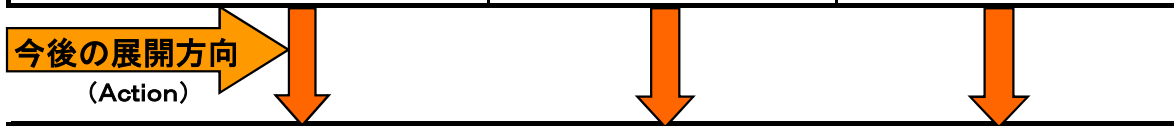
(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	水の安定供給が図られたことから、概ね公平であると考慮する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
目標が達成された。		



終了		
平成20年度で事業は完了しました。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書（平成 20 年度事業）

整理番号 9 - 26

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	新日の出地区給・配水管改修工事					
評価者	担当課名		建設水道課	担当係名		水道係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	大場利昭		氏名	江田一夫
事業の概要	国道山側拡幅工事に伴い、漏水防止に向け老朽給・配水管の更新改修を行い有収率の向上、維持を図るものです。					全体計画 (平成 20 年度～ 20 年度)
	給・配水管改修工事 L=90m					国・道支出金
						地方債
						その他
						一般財源
					事業費計	3,600 千円
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	17 上・下水道の整備				
	単位施策	1 水道の安定供給				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	3,266 千円	千円	千円	千円	千円
	合計	3266 千円	千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	漏水発生の恐れあり。	給・配水管整備延長				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	漏水等の未然防止を目指した。	① 給配水整備延長/給配水整備延長の実績	指標(指標計算式/解説)			目標年度 平成20年度
						目標値 90 m
						実績値 90 m
						達成度 100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	漏水等の未然防止が図られた。	②	指標(指標計算式/解説)			目標年度
						目標値
						実績値
						達成度 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
①民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事発注し、給・配水管改修工事を実施した。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	国道拡幅整備に伴い、漏水時の掘削が困難となるため、漏水を未然に防止していくためには町が担う必要がある事業です。また、当該事業を実施しない場合には、老朽給水管による漏水が発生し住民生活に支障を来すことが予測される。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	給・配水整備を完了することにより、漏水防止が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	国道拡幅整備前実施により、事業費が抑制されたことで、概ね効率的に実施された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

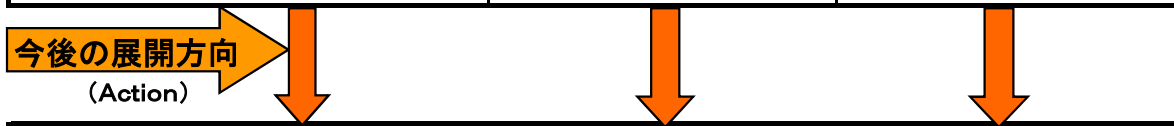
(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	水の安定供給がはかられたことから、概ね公平であると考慮する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
目標が達成された。		



終了		
平成20年度で事業は完了しました。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 9 - 27

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	港町地区配水管改修工事					
評価者	担当課名	建設水道課		担当係名	水道係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	大場利昭		氏名	江田一夫
事業の概要	雄武町港町才ホーツクニチ口前配水管(DCIPφ200mm)の一部が、工場基礎内部に入り込んでおり、腐食等による漏水・破裂事故の発生が懸念されることから、町道に敷設替えをし事故を未然に防ぐものです。 配水管改修工事L=52.0m				全体計画 (平成 20 年度～ 20 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 3,300 千円 事業費計 3,300 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	17 上・下水道の整備				
	単 位 施 策	1 水道の安定供給				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	3,129 千円	千円	千円	千円	千円
	合 計	3129 千円	千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	漏水発生の恐れあり。	配水管整備延長				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	漏水等の未然防止を目指した。	① 配水整備延長/配水整備延長の実績	指標(指標計算式/解説)			目標年度 平成20年度
						目 標 値 52 m
						実 績 値 52 m
						達 成 度 100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	漏水等の未然防止が図られた。	②	指標(指標計算式/解説)			目標年度
						目 標 値
						実 績 値
						達 成 度 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
①民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事発注し、配水管改修工事を実施した。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	配水管の破裂事故等、漏水を未然に防止していくためには町が担う必要な事業であります。 また、当該事業を実施しない場合には、老朽配水管による漏水が発生し加工場の営業に支障を来すことが予測される。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	配水整備を完了することにより、漏水防止が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	塩ビ製配水管の採用により、事業費が抑制されたことで、概ね効率的に実施された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

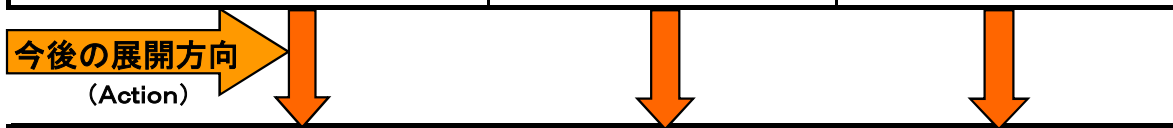
(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	水の安定供給がはかられたことから、概ね公平であると考慮する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
目標が達成された。		



終了		
平成20年度で事業は完了しました。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 9 - 28

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		簡易水道事業量水器更新事業															
評価者	担当課名	建設水道課		担当係名	水道係												
	管理職	職名	課長		職名	係長											
		氏名	大場利昭		作成者	氏名	江田一夫										
事業の概要	計量法第9条に基づく、量水器検定満了期間8年での更新が義務付けられており、使用水量に対する料金徴収を適正に行うための事業であります。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)	<table border="1"> <tr> <td>国・道支出金</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>61,854 千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>事業費計</td> <td>61,854 千円</td> </tr> </table>		国・道支出金	千円	地方債	千円	その他	61,854 千円	一般財源	千円	事業費計	61,854 千円
国・道支出金	千円																
地方債	千円																
その他	61,854 千円																
一般財源	千円																
事業費計	61,854 千円																
実施方法	■ 直営	民間委託		その他 ()													
第5期総合計画(前期)		■ 登載事業	非登載事業	優先度	B												
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～															
	基本施策	17 上・下水道の整備															
	単位施策	1 水道の安定供給															
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務														
	その他計画・根拠等																
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)											
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円											
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円											
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円											
	雄武町負担額(一般財源)	7,994 千円	12,607 千円	10,527 千円	12,652 千円	16,864 千円											
	合計	7994 千円	12607 千円	10527 千円	12652 千円	16864 千円											

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	適切な料金徴収ができない。	検定満了量水器更新			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	計量法に基づいた適正な更新を目指した。	① 更新量水器/更新量水器の実績	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成20年度	
			目標値	216 台	
			実績値	216 台	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	正確な使用量の確定ができた。	②	達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
①民間業者による物品購入と工事の実施	入札により民間業者に物品購入と工事発注し、量水器更新事業を実施した。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	計量法に基づいて量水器を更新することは、適正な使用量を把握するうえで、町が担う必要のある事業であります。 当該事業を実施しない場合には、使用量に誤差が生じたとき、料金収入に大きな支障を来します。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	検定満了期間に合わせた量水器の更新により、適正な使用量が把握することが出来た。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	入札により事業費が抑制されたことは、概ね効率的に実施出来た。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	量水器の更新で使用量が把握できたことは、公平であると考慮する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
今後も計画通りに事業を進めることが適当である。		



継続／現状維持		
量水器の更新で適正な使用量を把握することは継続、現状維持が適当である。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--